デロイト トーマツの人

テーマからインタビューを探す

プロフェッショナルたちは、なぜデロイト トーマツを選んだのか。
仕事内容、働く環境、目指すキャリアなど、デロイト トーマツで働くプロフェッショナルたちの声をお伝えします。

女性活躍

育児とプライベートタイムのバランスを取りつつ働くシニアコンサルタントのリアルライフ

デロイト トーマツ サイバー合同会社
シニアコンサルタント

第二新卒／働く環境・魅力／多様な働き方／チャレンジできる環境／女性活躍／育休

仕事と育児を両立するプロフェッショナルを目指して

デロイト トーマツ リスクアドバイザリー合同会社
マネジャー

外資系総合コンサルファーム出身／グローバルガバナンス領域担当／グループ内連携／多様な専門家との協働／女性活躍

自分色のコンサルタントになろう！

デロイト トーマツ コンサルティング合同会社
コンサルタント

製薬会社出身／チャレンジできる環境／女性活躍

採用ページへ戻る

育児とプライベートタイムのバランスを取りつつ働くシニアコンサルタントのリアルライフ

A Day in the Life at Deloitte Tohmatsu Cyber LLC
M.K.
デロイト トーマツ サイバー合同会社
Strategy　シニアコンサルタント
ITの事業会社勤務
働く環境・魅力／多様な働き方／チャレンジできる環境／女性活躍／育休

※役職・内容はインタビュー当時のものになります。

- 会社：　デロイト トーマツ サイバー合同会社
- 部署：　Strategy
- 職位：　Senior Consultant
- 氏名：　M.K.

勤務形態	フルタイム
学生時代の専攻	経営学（人材資源管理関連）
デロイト トーマツを選んだ理由	サイバーセキュリティ専門のコンサルティングができることと、グローバルな環境で働けることに魅力を感じ、デロイト トーマツを選択。

Q.デロイト トーマツ サイバー合同会社（以下、DTCY）ではどんな仕事をしていますか？

A. 私はStrategyという部署に所属し、企業へのアセスメントや組織設計支援などの業務を行っています。
現在は、主に製造業のクライアントへセキュリティ教育や訓練の提供を行うプロジェクトに従事しています。直近では、クライアントの海外拠点向けの教育用に、現地の特性を踏まえたコンテンツを提供する準備をしています。
教育関連のプロジェクトでは、自分が作成したコンテンツを通してクライアントのサイバーセキュリティの成熟度を向上させることに貢献し、体制が強化されたことを実感できます。特にそういった場面で、自分の仕事に意義を感じます。

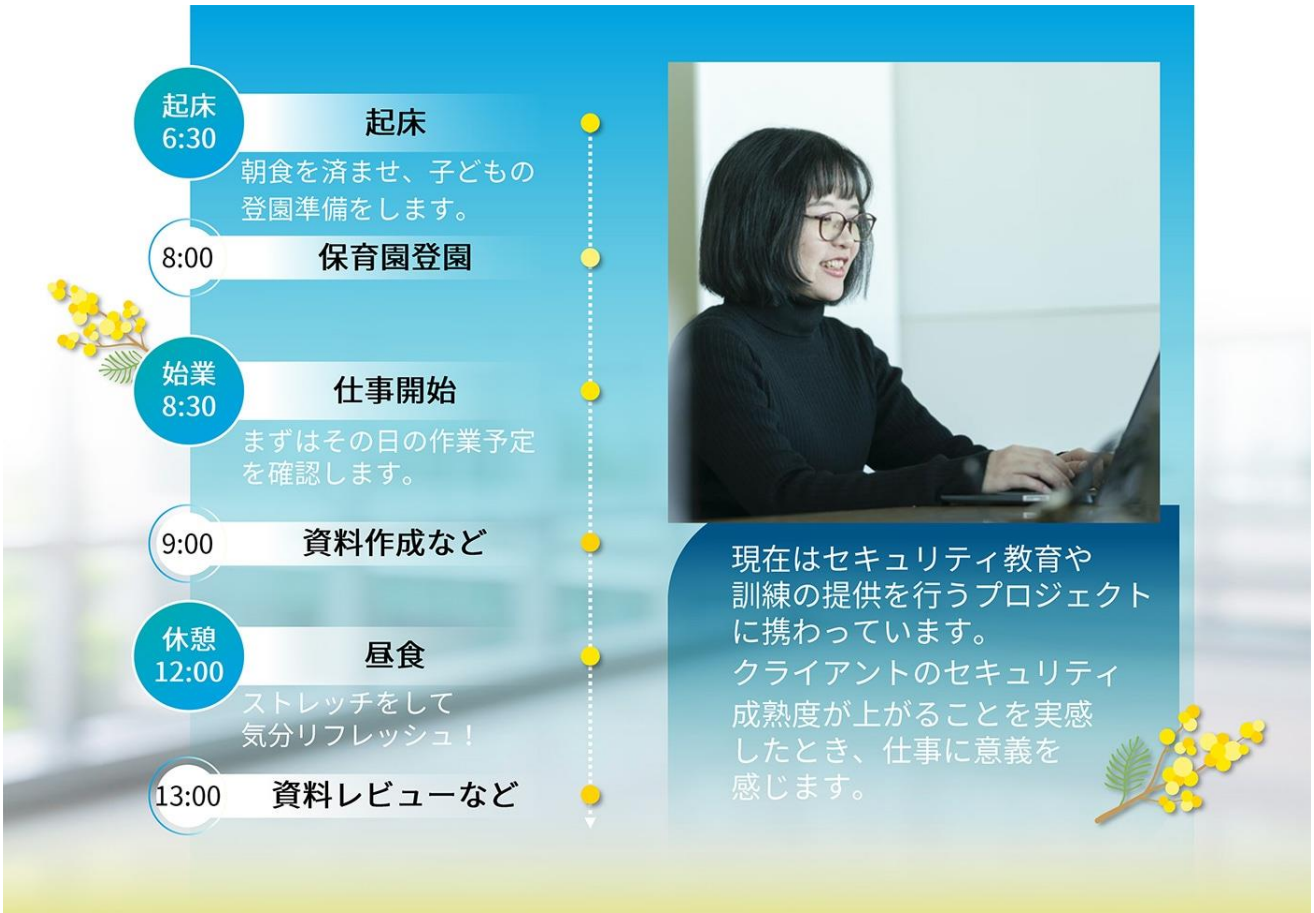
Q.DTCYに入って驚いたことはありますか？

A. 私はDTCYに2020年2月に第2新卒として入社しました。
入社した当時から、自ら積極的に仕事に取り組む姿勢や、与えられたタスクに対してフィードバックを受けるためにコミュニケーションを取ることが求められました。この点が前職と異なり、新鮮な驚きとともに学びとなりました。
DTCYでは、自分でやるべきことを見つけて取り組むことが大切にされており、そのおかげでより充実した働き方ができていると感じます。

また、私はよりスキルアップをする意欲があったため、主任やコーチに積極的に仕事を求めたこともあります。DTCYの主任やコーチは部下の要望や話をよく聞いてくれるため、自分の考えや要望を伝えやすかったです。振り返ると主任やコーチのおかげでとても成長できたと感じます。
この環境は現在も変わらず、DTCY全体でチーム内外でのコミュニケーションを重視していて、とてもサポートが充実していると思います。

Q.サイバー業界に求められている人はどのような方ですか？

A. サイバー業界でコンサルタントとして働く場合、コンサルタントとして必要な論理的思考ができる人、現在はできなくてもそういった考えを今後、自発的に身に付けられる人が求められると思います。
もちろん、既に身に付いている人はサイバー業界でコンサルタントとして働くことがとても適していると思いますが、自信がない方でも問題ありません。このようなコンサルタントとして求められるスキルやふるまいは入社後の研修や案件の中で身に付いていきます。実際、私自身も最初から全てできていたわけではなく、現在も磨かなければならないスキルだと考えています。
だからこそ「できる人」より「自発的に身に付けられる人」が求められると強く思います。
サイバーやITの知識・スキルは個人的に入社後も継続的に学ぶことで身に付けられるため、そこまで心配する必要はないと思います。

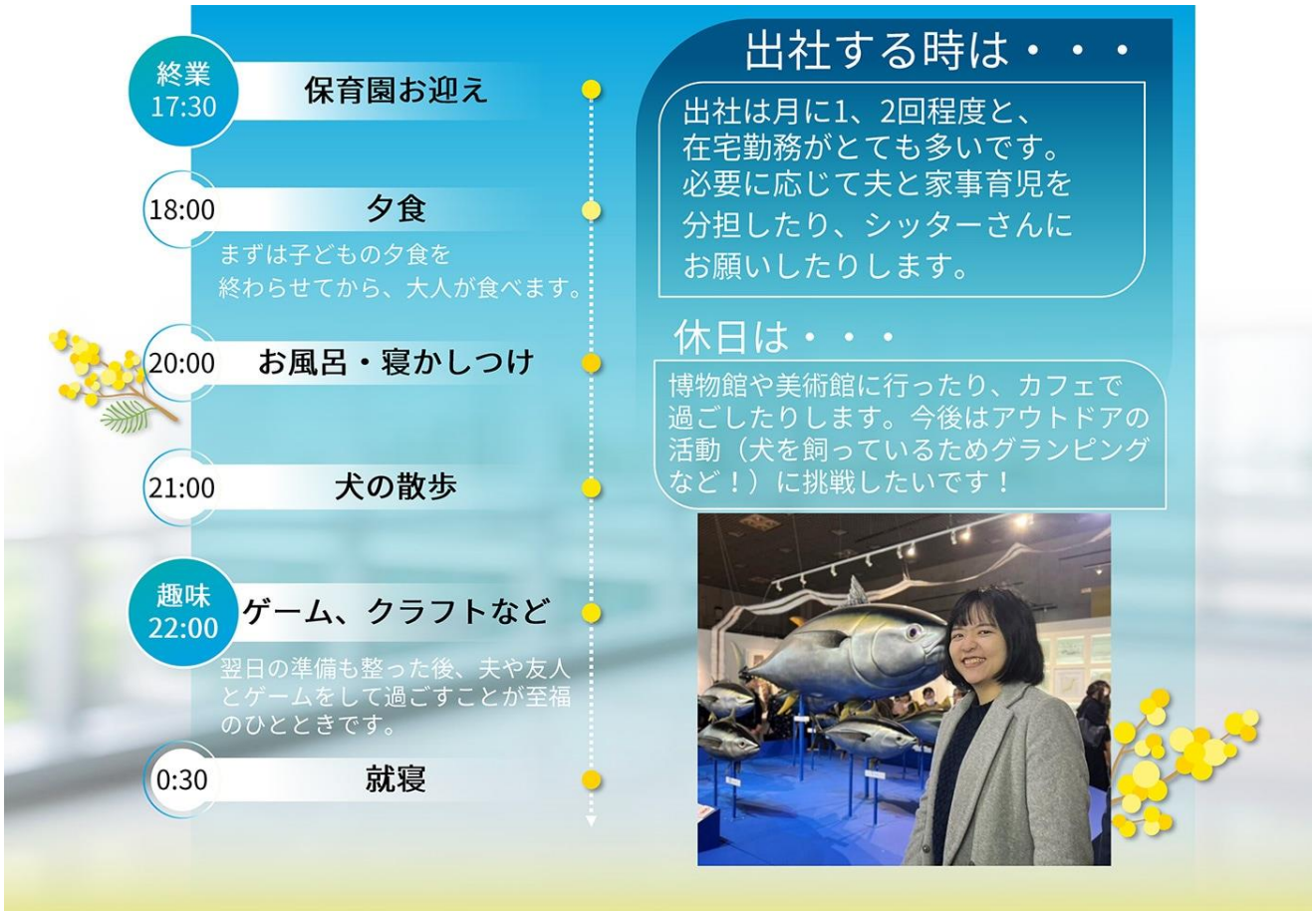


Q.家庭と仕事の両立はどのようにされていますか？

A. 私には1歳半になる娘がいます。
夫は同業者であり、出社が多いのでリモートワーク中心の私が家事をメインで担っています。そのため、夫とも相談し、土日は夫やシッターさんにお願いし極力自分の負担を減らしてもらっています。そうすることで、土日は好きなことをする時間が取れています。
また平日に突然子どもの体調が悪くなる場合などにもシッターさんを利用しています。DTCYには、病児保育を含むシッター費用補助制度があるため、非常に助かっています。

Q.出社の頻度はどのようなものですか？

A.出社する頻度はそこまで多くなく、月に1回程度です。ただ、会社に行くといろいろな人とコミュニケーションを取れますし、学びも得られるため、私は出社することが好きです。
また、会社が丸の内にあり、ロケーションがおしゃれでオフィスもスタイリッシュなため、仕事をしていても気分が上がります。美味しいご飯屋さんも会社周辺に多く、同僚とランチに行くなどして出社日を楽しむこともしています。



Q.子育ての面白さや経験の中で得たものなどありますか？

A. 育児で得たものはとても多いです。子どもの成長には日々目を見張るものがあります。
これまでハイハイしていた子どもが突然立ち上がったり、歩き始めたりする瞬間はまさにシャッターチャンスの連続で、とても面白いです。育児は楽しんで取り組めています。

Q.自分時間をどのように過ごされていますか？

A.プライベートな時間はとても自由に過ごしています。
子どもがまだ小さいため、平日は20時半や21時ごろには寝ます。それ以降の時間は夫や友人とゲームをしています。休日は趣味である美術館に行ったり、友人と会って食事などをしたり、一人で過ごすこともできています。また、義両親が近くに住んでいるため、夫婦で長時間出かけるときには義両親に子どもを見てもらうこともあります。夫も私も適宜休みを取りながら、仕事・子育て・プライベートタイムをバランス良く取ることができていると思います。

Q.これから挑戦してみたいことなどありますか？

A.過ごしやすい季節に、家族と飼い犬と一緒にグランピングなどのアウトドア活動を企画したいと思っています。
また、海外出張を控えているため、私が不在の際に発生し得るイレギュラーなことにうまく対処できるよう、夫や家族の協力を得ながら調整したいと思っています。
仕事をする母親にとって、子育ての全てを一人で担うことはとても難しいです。夫や実母にもサポートしてもらえるように準備するなど、キャリアと子育てを両立して進めていけるように挑戦し続けたいです。

求職者へのメッセージをお願いします

DTCYは助け合える環境があります。最初から「できる社会人」である必要はなく、気負うことなく積極的に仕事に取り組めば、いろいろな人がサポートをしてくれて、個人としてもチームとしても良い仕事ができます。この環境を活かして、経験を積み、将来的には助けてあげる立場になってもらいたいです。

一覧へ戻る

採用ページへ戻る

仕事と育児を両立するプロフェッショナルを目指して

デロイト トーマツ リスクアドバイザリー合同会社
GRC／ストラテジックリスク　マネジャー　〈2017年2月入社〉
外資系総合コンサルファーム出身
グローバルガバナンス領域担当／グループ内連携／多様な専門家との協働／女性活躍

※役職・内容はインタビュー当時のものになります

Q.ストラテジックリスクの仕事内容について教えてください。

A. ストラテジックリスクユニットでは、「経営層が健全にリスクテイクできる経営管理の構築」をミッションとしています。
中長期リスク、新規事業・M&Aなどに関わる事業/投資リスク、ポートフォリオリスク等の分析や、パフォーマンス・リスクの統合的マネジメント、戦略を実現するためのガバナンス、また事業継続を揺るがすクライシスの平時・有事対応など、重要経営課題に正面から向き合い、多岐にわたるサービスを提供しています。
その中で私はグローバルガバナンス領域を主に担当しており、多くの日系グローバル企業が抱える「海外事業・拠点のガバナンス」に関する課題に対してグローバルガバナンスポリシーの策定や本社の経営陣・事業部・コーポレートと海外拠点の双方への落とし込み、地域・事業・拠点に固有のリスク分析や内部監査サポートといった目の届きづらい海外拠点へのモニタリングを中心に行っています。
海外子会社の社員の方や、その地域のデロイトのメンバーと協業する機会も多く、英語を含めたコミュニケーション力が鍛えられることも、その仕事内容とあわせてやりがいのひとつになっています。
以前はリスクへの対応は必要だと思われるけれども、本当に必要かどうかわからないものという意識を持つ企業も少なくありませんでした。しかし、近年は私たちがサービスを提供するなかで、リスクを可視化して日頃から対応していくことがいかに重要か、理解をいただいています。加えて、新型コロナウイルスの影響もあり、さまざまなリスクに対して企業の意識は大きく変化しつつあると感じています。

Q.トーマツを選んだ理由を教えてください。

A. 前職では、外資系総合コンサルティングファームでITコンサルタントとして働いていました。転職のきっかけは仕事を続けるうちに、ITという枠にとらわれず、より経営層に近い立場でクライアントの発展を支援したいと考えたことです。
トーマツを選んだのは、転職活動中にリスクアドバイザリーという仕事を知り、課題だけでなくリスクに対しても、中長期的な視点から支援する点に面白味を感じたこと。ほかのプロフェッショナルファームと比べてもリスクアドバイザリーをコアな業務としていることが理由です。現在の業務では常に経営層と同じ目線、会社全体に対する視野の広さが必要になりますが、それが難しさと同時にやりがいにもなっています。

Q.トーマツで働くことの魅力はどんなところですか？

A. 一人で担うには大きな重責のある仕事ですが、デロイト トーマツ グループには想像していた以上にさまざまな分野の専門家が集まっています。多くのプロフェッショナルがクロスファンクションでサービスを提供していくことで、難しいプロジェクトも一丸となって乗り越えることができますし、その一翼を担えていることも大きな魅力です。また、トーマツにはFWP（フレキシブルワーキングプログラム）という制度があります。私も最近、育児休暇から復職し、現在はこの制度を適用して在宅勤務中心に働いていますが、チームメンバーが育児と仕事の両立を当然のこととして

サポートしてくれているので大いに助けられています。
前の職場では産後に復職した方は社内の仕事が多くなりがちでしたが、トーマツではそうした制限も一切なく、引き続きクライアントへのサービス提供を行えており、キャリア形成の上でも働きやすい環境です。育児休暇から復職した際に、お客様からまた一緒にやりましょうと声をかけていただいたことも嬉しかったですね。

Q.今後の目標を教えてください。

A. トーマツのリスクアドバイザリーは、社会情勢やクライアントのニーズに応じて常に柔軟に変化していく集団であると感じています。プロジェクト毎にまったく違う仕事をしている気持ちになるほど扱うテーマが変わり、情報や知識のキャッチアップに難しさを感じることもありますが、知らないことはすぐに社内の専門家に教えてもらえる環境が整っているので、今後もクライアントの課題に対してしっかりとしたサービスを提供していくことが仕事の上での目標です。

もうひとつの目標は、後輩たちのロールモデルになっていくこと。管理職のなかにも子育てをしながらキャリアアップされている先輩がいらっしゃいますが、社内全体でワーキングマザーが増えてきている今、私もFWPの制度も活用しながら対クライアントの仕事を続けていきたいですね。

一覧へ戻る　採用ページへ戻る

自分色のコンサルタントになろう！

デロイト トーマツ コンサルティング合同会社
Life Sciences and Health Care　コンサルタント
製薬会社出身
チャレンジできる環境／女性活躍

※役職・内容はインタビュー当時のものになります。

Q.異業界からコンサル業界へ転職されたきっかけを教えてください

A. 前職でPost-Merger Integration（企業統合後のマネジメント）に関するプロジェクトマネジメントオフィスを担当し、企業の成り立ちや、部署ごとの課題感や考え方の違いを知る機会を得ました。部署間調整を多数続けていくうちに、ヘルスケア業界では「それぞれの部署が考えている課題感を横ぐしでつなぎ、一丸となって解決する事が、変革の時代を乗り切るKeyになるのではないか」と考え始めました。幅広な課題にプロジェクトベースで立ち向かい、多種多様な経験を積むコンサルタントであればそのような存在に近づけるのではないかと考え、コンサル業界に興味を持ちました。

Q.DTCに入って、どのような自己成長や自己実現ができましたか？

A. 周囲からのサポートが手厚く、コンサルタントとしての基礎能力を比較的短期間で成長させることができると感じます。2週間に1度のフィードバックのみならず、日常業務での作業を通じて丁寧で的確な指導をしてもらえており、日々成長中です！また、取り組みたいと思っている課題を明言すれば、チャンスを与えてもらえることもDTCの魅力です。私はグローバルの課題解決にとても興味があるのですが、最近パートナーの米国出張に同行させてもらう事が出来ました。そこで世界中に広がるデロイトのグローバルネットワークの強さと一つのチームとして協力したり、知見を共有する仕組みを学び、グローバルプロジェクトでの自身の動きも磨かれていると感じています。

Q.異業種からのコンサル業界への転職の成功ポイントを教えてください

A. 異業種での経験を武器にできるよう、自分の強みを棚卸しておくことだと思います。コンサルタントとしての基本的な能力（ロジカルシンキング、PPT/Excelの取り扱いなど）は中途入社であってもきちんと教えてもらえるので、その上で、自分が活かせる武器は何かを周囲に明確に伝えられるようにしておくと良いのではないでしょうか。武器が明確な人は、力を発揮しやすいプロジェクトにアサインされたり、自分にマッチした活動の声がかかりやすく、転職後もうまく軌道に乗れるのではと感じています。

Q.コンサルティングファームへの転職を検討されている方にアドバイスおよびメッセージをお願いします。

A. DTCは取り扱う案件の種類も多く、世界中のデロイト ネットワークと知見の共有をしています。コンサルティングファーム全体にいえる事だと思いますが、扱う案件の幅の広さが自慢の業界ではないでしょうか。それ故に、みなさんのこれまでの経験や、得意な事、人と違った事が必ず活かせる業界とも言えます。一緒に自分だけのコンサルティングスタイルを模索し、色鮮やかな職場を楽しみましょう！

▼ご興味ある方はぜひ！

＜応募職種一覧ページ＞

Life Sciences ＆ Health Care（製薬、医療機器、医療・異業種参入領域）